

泌尿器科

● スタッフ（平成29年10月1日現在）

診療科長 大野 芳正
 医局長 権藤 立男
 病棟医長 下平 憲治
 外来医長 並木 一典

医師数 常勤 17名
 非常勤 4名

● 診療科の特徴

1. 特色

来は午前中3診察にて診療を行っており、午後は初診来院患者の診察を行っている。一日の来院患者は約140人となっている。病棟規定数は50床で稼働しており、診療はスタッフとチーフレジデントを中心とした班によって行っている。1週間に15-20件の手術が組まれており、泌尿器科小手術から前立腺癌、腎臓癌に対するロボット支援手術や腹腔鏡手術、膀胱全摘除術といった大手術までバランスよく施行されている。

2. 主な診療対象疾患

1) 悪性疾患

腎がん、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎癌、後腹膜腫瘍など

2) 良性疾患

前立腺肥大症、尿路感染症、尿路結石症、副腎腫瘍、水腎症、尿管狭窄

● 診療体制と実績

当泌尿器科で2017年に行われた手術に関して図1にまとめた。特に2006年に国内で初めて前立腺癌に対してダヴィンチを用いたロボット支援下前立腺摘除術を導入し、現在に至るまで国内随一の手術実績をおさめている（図2）。また前立腺癌に対しての治療は、ロボット支援下手術だけでなく、小線源治療、強度変調放射線治療（IMRT）、薬物療法、ラジウムによる骨転移治療など種々の治療を行っている。腎臓癌、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡下手術を、小径腎癌に対してはロボット支援下腎部分切除術を行っている。一方、浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘除術においても2018年度より保険収載され導入を予定している。また尿路変更術においては、機能温存を目指した自然排尿型代用膀胱造設術を積極的に行っている。患者の希望やQOLを考慮し、低侵襲治療を中心とした様々な治療が行えるように体制を整えている。

図1 2017年の手術実績

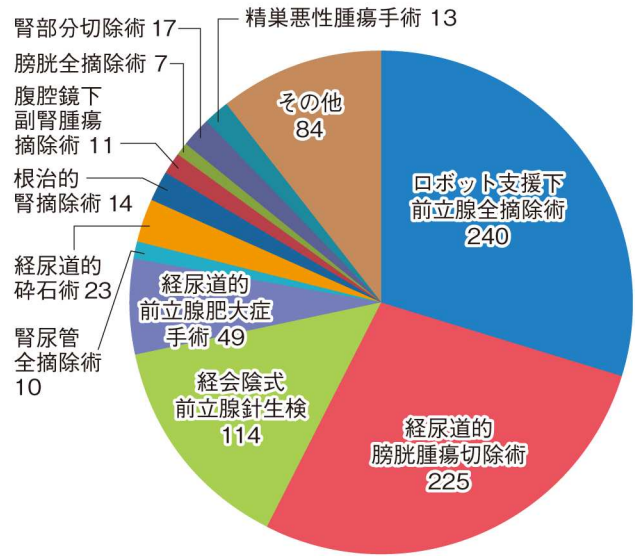


図2 ロボット支援下前立腺全摘除術の過去6年間の推移

